

世界メジャーという新しい企業経営

黒田インターナショナル コンサルティング

黒田 毅

大手世界メジャーという経済の現実へ、全てにおいて同じ現実を行うことは、企業が同じ現実を有することを与えるのである。

同じ企業環境は同じ現実を与えるものである。金融において、そのグローバル市場における自己プレゼンスの構築は、世界という舞台において対等な自己を与えるものである。

これらは明確に理解を要求されることは、高い企業倫理性や、資本と企業体力など、自己基準における判断でなく、共有のルールと判断における参加は、グローバル基準と同じ現実における新しい自己を与えるものである。

これらは必ず日本企業において夢への到達なのである。政治の怠慢にもかかわらず、常に企業努力を行い続けることで自己を有する企業は、自己の自立と独立においてこれら現実を有することは必ず企業努力の結果として、夢という現実を可能とするのである。

これら企業基盤が次世代という新しい経済の現実への対等性を与えるため、これら基準の転換と現実の構築は、否定できないものなのである。

これらは新しい経済の現実への自己基盤として、要求されることは一つの真実である。

また独自企業哲学や理念は、決して否定されるものでない。唯一教諭のルールにおける参加なのであり、GAFAMなどは、それらを行い自己のプレゼンスを構築したのである。

これらは共有の責任における新しい現実への参加であることは真実である。エコノミックアニマルと揶揄された現実から、共有雨の世界への責任における参加は必ず新しい現実を与えられるものである。

これらはうさぎとかめ、アリとキリギリスという寓話が、真実であることを意味するのである。